

平成二十三年七月十六日 土曜日

市民参加で、「たけふ菊人形を盛り上げよう！」

宣伝配布用のたねまき作業を開催

午前九時三十分から、花の地域リーダーを中心に、参加者二十名が花の種まき作業を行いました。普段から植物に携わっている方たちが、「土作り班」「たねまき班」「運搬係」と、自然に作業分担が行われました。その段取りと、てきぱきとした手際の良さに脱帽でした！

作業終了後は、花のアドバイザー 飯塚貞子氏による、夏場の植物管理の話や、花リーダーさんたちの意見交換など、とても楽しい雰囲気で行われました。

詩いた種の管理は万葉菊花園で行い、たけふ菊人形開催時に花苗配布として市民の方にプレゼントする予定です。



たねまきの様子 フォトギャラリー



ご協力 ありがとうございます

~花・はな ワンポイントアドバイス~

~ 意外と奥が深い！水やりについて ~

「水やり3年」といわれるくらい、簡単そうで難しい水やり。いつ？どれだけ・・・？など、疑問はつきません。ここで、水やりについて本当に簡単ですが、お話しします。

「水やり」は、植物の乾燥を防ぐほかに、水の流れて土の中の空気を循環させる働きがあります。水はケチらずたっぷり。たっぷりといっても、水圧を上げすぎると土が流れ出てしまうので、気をつけてください。水やりはメリハリをつけて、「乾いたらたっぷり」、根元に水を与えるのが基本です。花や葉にたくさん水がかかると、暑い時間帯に痛んでしまいます。

水は早朝にたっぷり与えると、根や葉が痛みにくく、大きく成長するようです。でも、あげすぎは厳禁です。根が窒息してしまい、根腐れの原因になります。植木鉢の底にある、皿の水がたまっていたら、必ず捨てましょう。また、旅行などで家を空ける場合は、乾燥をふせぐため、植木鉢を涼しい日陰に移動させることを忘れないでください。

植物もペット同様、個性もいろいろ。毎日様子を見ることをお忘れなく！尻尾を振ったり甘えたりはしませんが、立派な「生き物」です。きちんと世話をした植物は、必ず応えてくれますよ。

